

【余暇活動】グラウンドゴルフ



11月29日（土）と12月6日（土）に、余暇活動としてココイクの園庭をお借りし、グラウンドゴルフを行いました。両日とも天候に恵まれ、暖かく過ごしやすい気候の中での活動となりました。プレイするうちに、徐々にコツをつかむ利用者さんも見られ、皆さん終始、満足そうな笑顔で楽しまれていました。活動後は青空の下で昼食をとり、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。今後も、利用者の皆さんが楽しみながら参加できる余暇活動を大切にしていきたいと思ひます。

糸満市新採用職員フォローアップ研修



11月26日（水）・27日（木）に、新垣拓弥さん、上原夏生さん、友寄陽太さん、伊佐着貴臣さん、上原幸樹さんを含む6名の職員の皆さんが、糸満市新採用職員フォローアップ研修を行いました。皆さんは利用者さんと自然に打ち解け、笑顔で会話を楽しみながら日中活動を行われていました。

研修後には「新鮮な経験をありがとうございました」「支援の仕方が勉強になりました」といった感想もいただきました。短い期間ではありましたが、今回の研修が今後の業務に少しでも役立てば幸いです。研修お疲れさまでした。

ボランティアありがとうございます！ 長間 佳子さん、喜屋武 竜匡さん、堀川 颯太さん、中村 伝さん



社会福祉法人たまん福祉会
就労支援センターたまん
〒901-0362
沖縄県糸満市字真栄里 857 番地
電話 098 (995) 1992
FAX 098 (995) 1310
メール info@taman.or.jp
HPアドレス <http://www.taman.or.jp/>

第274号

令和7年12月19日発行

就労移行訓練生2名 一般就労内定決定

10月に「セカンドストリート」にて、職場実習を行ったトライ班の金城光希さんと新垣ひよりさんの両名が、このたび同店舗での就労内定が決まりました。

お二人は、たまんへの入所当初こそ内向的な面が見られましたが、訓練や日々の活動を重ねる中で、少しずつ自らほかの利用者さんや職員に声を掛け、積極的にコミュニケーションを取る姿が見られるようになりました。その成長は目覚ましく、ついに目標であった一般就労を見事に達成されました。

また、内定が決まった際には、お二人とも喜びを隠しきれず、その表情から達成感と希望があふれていました。その姿を見て、職員も胸が熱くなり、心から嬉しく思いました。勤務開始は1月中旬を予定しています。

新しい環境でお二人がさらに力を発揮し、充実した社会生活を歩まれることを、職員一同楽しみにしております。

なお、今回のお二人の就職により、たまんからの一般就労者は延べ63名となりました。





1月の予定

1月1日（木）～1月4日（日）
年始のお休み期間

1月5日（月）仕事始め

1月7日（水）職務会議

1月9日（金）たまん成人式

1月12日（月）成人の日

1月17日（土）余暇活動

1月19日（月）法人職員研修会
（利用者は1時間早く退勤）

1月24日（土）余暇活動

1月31日（土）余暇活動

津波避難訓練実施

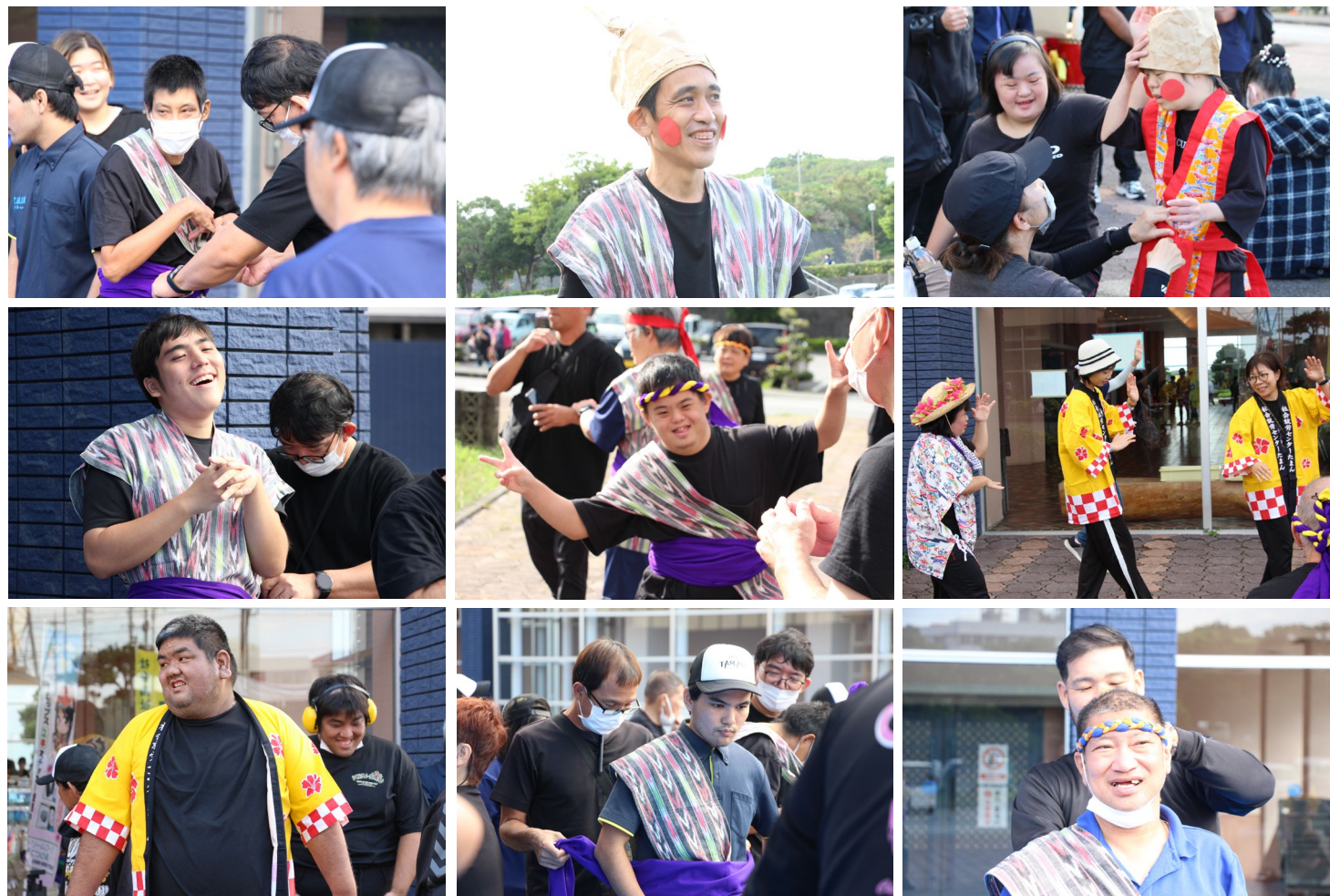


令和7年11月5日、地震により大津波警報が発表されたことを想定した、避難訓練を実施しました。当日は天気が悪いこともあり、2階食堂へ避難。職員の適切な誘導があり、大きな混乱を招くことも無く、避難することが出来ました。地震はいつ・どこで起きるかわかりません。訓練を行い、迅速な対応が出来るように心がけていきます。

YOU・Iフェスティバルに参加しました！

11月15日（土）にうるま市民芸術劇場で開催された『YOU・I（ゆい）フェスティバル』に参加してきました。今回は、たまんから約50名の利用者さんと職員で出演し、7月のチャリティー演芸の集いでも披露したエイサー演武「滝落とし（たちうとし）」を披露しました！今回はエイサーに手踊りも加え、パワーアップして演舞に臨みました。

先月はスポーツ大会、さらに台風の影響で練習期間がとても短かったのですが…本番ではみんなが堂々と笑顔で力いっぱい踊りきり、舞台いっぱいに迫力と元気を届けることができました。客席からは大きな拍手が響き、出演した利用者さんたちも達成感で満ちた表情。練習の大変さも、本番の舞台でしっかりと花開いた1日となりました！今年もたまんの団結力に感心するそんな1日でした。来年も力を合わせ、素晴らしい演舞を披露しましょう！みなさん、大変、お疲れさまでした。



防災訓練の実施について

令和7年11月20日（木）に防災訓練を実施しました。今回の想定出火場所はたまん事務所です。

これまでの課題として挙がっていた、車いす利用者の避難支援について、電動車いす利用者を支援者が担いで避難する方法を取り入れました。その結果、障害特性の影響により、利用者を担いだ際に身体が不安定になることや、作業場所を分けて活動していた利用者への確認が行き届かず、誘導が遅れてしまうなど、いくつかの課題が明らかになりました。

今回の訓練で得られた課題を次回までに整理・改善し、より安全で確実な避難対応ができるよう、引き続き備えていきたいと考えています。

